

船舶事故調査報告書

令和6年4月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（岸壁）																																												
発生日時	令和5年10月20日 13時31分ごろ																																												
発生場所	愛媛県松山市松山港第1区内港フェリー岸壁 松山港防波堤灯台から真方位135°270m付近 (概位 北緯33°51.9′ 東経132°42.6′)																																												
事故の概要	旅客フェリーおれんじじゅぴたーは、着岸操船中、岸壁に設置された防衝板に強く接触し、続いて着岸中の交通船第十一睦栄丸 ^{むつえい} に衝突した。																																												
事故調査の経過	令和5年10月24日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済																																												
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 旅客フェリー おれんじじゅぴたー、695トン 132561、防予フェリー株式会社 B 交通船 第十一睦栄丸 7.9トン 281-38149愛媛、山中船食株式会社																																												
乗組員等に関する情報	A 船長A、三級（航海）																																												
負傷者	なし																																												
損傷	A 左舷船首部防舷材に擦過傷 B 船尾部ハンドレールに折損等 岸壁 防衝板側面に擦過傷、コンクリートに欠損																																												
気象・海象	気象：天気 雨、風向 西北西、風力 7、視界 良好 海象：波高 約1.5m 本事故発生場所の南南西約2.4海里に位置する松山南吉田気象観測所における令和5年10月20日の気象観測値は、次のとおりであった。 <table border="1" data-bbox="624 1485 1348 1859"> <thead> <tr> <th rowspan="2">時刻 (時：分)</th> <th colspan="4">風向・風速 (m/s)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">平均</th> <th colspan="2">最大瞬間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13：10</td> <td>西南西</td> <td>9.8</td> <td>西南西</td> <td>12.3</td> </tr> <tr> <td>13：20</td> <td>西</td> <td>9.6</td> <td>西</td> <td>12.9</td> </tr> <tr> <td>13：30</td> <td>西北西</td> <td>9.6</td> <td>北西</td> <td>13.9</td> </tr> <tr> <td>13：40</td> <td>北西</td> <td>11.8</td> <td>北西</td> <td>14.9</td> </tr> <tr> <td>13：50</td> <td>北西</td> <td>10.8</td> <td>北西</td> <td>13.9</td> </tr> <tr> <td>14：00</td> <td>北西</td> <td>9.4</td> <td>北西</td> <td>11.8</td> </tr> <tr> <td>14：10</td> <td>北西</td> <td>8.0</td> <td>西北西</td> <td>10.8</td> </tr> </tbody> </table>	時刻 (時：分)	風向・風速 (m/s)				平均		最大瞬間		13：10	西南西	9.8	西南西	12.3	13：20	西	9.6	西	12.9	13：30	西北西	9.6	北西	13.9	13：40	北西	11.8	北西	14.9	13：50	北西	10.8	北西	13.9	14：00	北西	9.4	北西	11.8	14：10	北西	8.0	西北西	10.8
時刻 (時：分)	風向・風速 (m/s)																																												
	平均		最大瞬間																																										
13：10	西南西	9.8	西南西	12.3																																									
13：20	西	9.6	西	12.9																																									
13：30	西北西	9.6	北西	13.9																																									
13：40	北西	11.8	北西	14.9																																									
13：50	北西	10.8	北西	13.9																																									
14：00	北西	9.4	北西	11.8																																									
14：10	北西	8.0	西北西	10.8																																									
事故の経過	A船は、船長Aほか5人が乗り組み、旅客24人を乗せ、車両8台を積載し、乗組員を入港配置につけ、内港フェリー岸壁の北北西方に延びる突堤の東面（以下「本件岸壁」という。）の基部に設置された																																												

防衝板（以下「本件防衝板」という。）に船首を押し当てて右舷着けする目的で、南南東進していた。

船長Aは、右舷ウイングで着岸操船中、A船の船首が本件岸壁の北端に並んだ頃、雨が降り出して西北西風が風速約11～12m/sに強まったのを認めたが、前港である山口県柳井市柳井港出港時に得た気象情報では、前線が通過するのはまだ先で、本件岸壁への着岸が困難となるほど風が強くなることはないと思い、着岸操船を続けた。

A船は、船長Aが主機、舵及びバウスラストを使用して着岸操船を続け、船首の係船索2本を本件岸壁に取ったものの、更に風が強まって風速約15m/sとなり、船尾が本件岸壁に寄らずに風に圧流され、船首が南南西方を向いたとき、左舷船首部が本件防衝板の東寄りに強く接触した。

A船は、着岸を続けたものの、船尾が本件岸壁に寄らず、船長Aが着岸を断念して船首の係船索を外し、後進するため船首を左方に振り、本件岸壁とほぼ並行の状態としたところ、本件岸壁の対岸の突堤に接近し、その左舷中央部が、同突堤に無人の状態に係留接岸していたB船の船尾部に衝突した。（図1、図2参照）

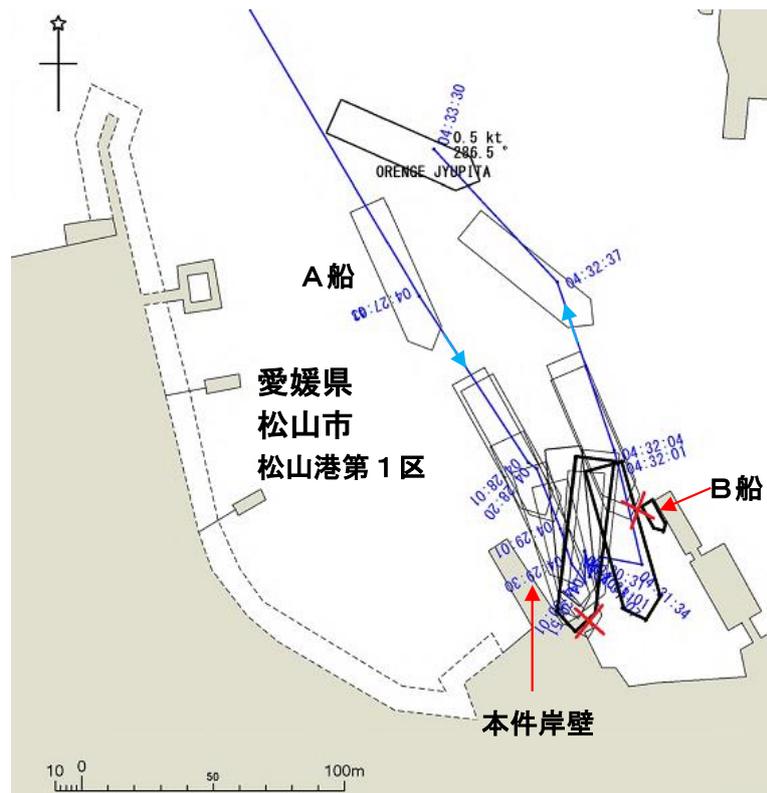


図1 事故発生経過概略図

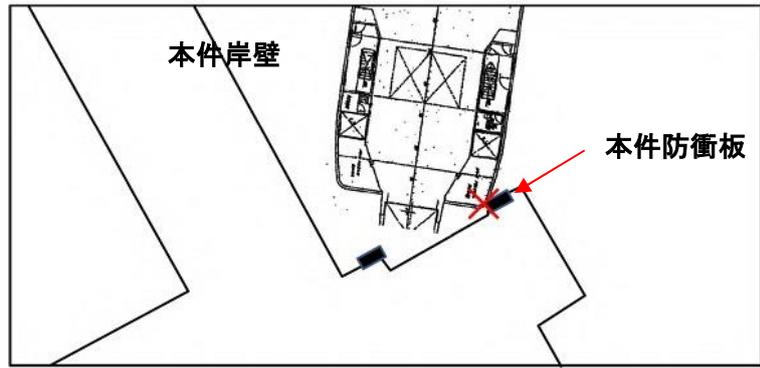


図2 事故発生状況図

船長Aは、A船を一旦大きく後進させたところ、風が少し収まったので、内港フェリー岸壁の突堤西面にA船を着岸させ、本事故の発生を海上保安庁に通報した。

本船にはスタンスラスタがなく、船長Aは、横からの風が約11～12m/sまでであれば、着岸可能と考えていた。

本事故発生当日12時の天気図では、寒冷前線が本事故発生場所の西側に、同日15時の天気図では東側にあった。

分析

A船は、前線の接近が予報されている状況下、本件岸壁に着岸操船中、船長Aが、出港時に得た気象情報では前線が通過するのはまだ先で、着岸が困難となるまで風が強くなることはないと思い、着岸操船を続けたことから、前線通過に伴い、着岸可能な風速を超える風が吹いて圧流され、左舷船首部が本件防衝板に強く接触し、続いて左舷中央部がB船の船尾部に衝突したものと考えられる。

本事故発生当日12時の天気図では、寒冷前線が本事故発生場所の西側に、同日15時の天気図では東側にあり、また、本事故発生時刻付近における松山南吉田気象観測所での気象観測値及び着岸操船中における本船の観測でそれぞれ風速が上がっていることから、前線が通過したものと考えられる。

原因

本事故は、前線の接近が予報されている状況下、A船が本件岸壁に着岸操船中、船長Aが、出港時に得た気象情報では前線が通過するのはまだ先で、着岸が困難となるまで風が強くなることはないと思い、着岸操船を続けたため、前線通過に伴い、着岸可能な風速を超える風が吹いて圧流され、左舷船首部が本件防衝板に強く接触し、続いて左舷中央部がB船の船尾部に衝突したものと考えられる。

再発防止策

今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。

- ・ 船長は、前線の接近が予想される場合、入港前に最新の気象情報を入手すること。
- ・ 船長は、強風により着岸が困難となるおそれがある場合は、前部

	<p>及び後部配置の乗組員との意思疎通をより密に行い、岸壁との距離等操船に必要な情報を継続的かつ的確に得るとともに、安全に着岸ができないと判断した際は躊躇^{ちゆうちゆう}せず着岸をやり直すこと。</p>
--	--